

子どもの誤嚥・窒息 どう対応すればいい？

株式会社日立製作所 日立総合病院
看護科 小児救急看護認定看護師

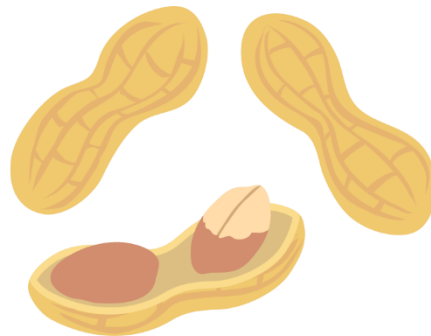
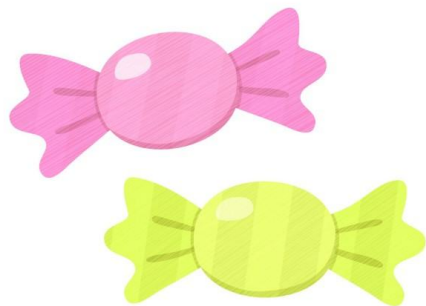
誤嚥（ごえん）



乳幼児が誤嚥しやすいもの

こんにゃくゼリー、ピーナッツなどの豆類、飴
おもちゃの部品、電池、硬貨

5歳ころまでは誤嚥を起こしやすいので注意が必要です



窒息時の対応

1歳未満：「背中をたたく＋胸部を強く押す」をくり返す

1歳以上：胸部突き上げ法（ハイムリック法）をくり返す

1歳未満の場合

1. 背中をたたく



- ①赤ちゃんをうつぶせにし、
救助者の片方の腕に赤ちゃんを乗せる
- ②赤ちゃんが乗っている側の手で
赤ちゃんのあごを支える
- ③赤ちゃんの頭が下がるように肘をあげ、
頭が体より低い位置になるようにする
- ④もう片方の手のひらの付け根で、
肩甲骨の間を5回強くたたく

1歳未満の場合

2. 胸部を圧迫する



- ①赤ちゃんを救助者の片腕に乗せたまま、仰向けにする
- ②赤ちゃんの頭部をさげたまま、もう片方の指2本で乳頭と乳頭を結ぶ線の少し下を赤ちゃんの胸の厚さの約3分の1が沈む強さで5回圧迫する

1歳未満の場合

1. 背中をたたく



くりかえす

2. 胸部を圧迫する



1歳以上の場合

腹部突き上げ法



＊乳児、妊婦には禁忌

- ①子どもの後ろから両腕を回し、片手で握りこぶしを作り、親指側を子どものみぞおち下に当てる
- ②握りこぶしを反対側の手で握り、素早く手前上方に突き上げるように圧迫する
- ③異物が吐き出されるまで繰り返す

子どもの元気を示す
3つのサインとは？



大切なことは・・・

寝る



遊ぶ



食べる



3つができているか？

「寝る・遊ぶ・食べる」ができていれば
あわてて受診しなくても大丈夫

お家でゆっくり休むことも
大切な治療です

